産婦人科

高山赤十字病院 産婦人科後期研修プログラム

1. 研修期間 5年間
シニアレジデント3年 専門医取得準備期間、母体保護医取得期間
チーフレジデント2年 専門医取得期間
2. 後期臨床研修の目的
 - A) 産婦人科領域全般の知識を身に付け、一般外来の診療を的確に出来ること
 - B) 産婦人科の救急疾患に対して的確に対応出来ること
 - C) 産婦人科の一定の手術が出来ること
 1. 腹式帝王切開術
 2. 付属器切除術
 3. 子宮内容清掃術
 4. その他
3. 到達目標
日本産科婦人科学会の「産婦人科の必修知識」を参照
 - 1) 正常分娩の管理(妊娠の診断、妊婦健診も含めて)が出来る
 - 2) 合併症妊娠の管理が出来る
 - 3) 急速墜娩の必要性の判断及び施行が出来る
 - 4) 新生児の管理が出来る
 - 5) 異常性器出血の診断、治療が出来る
 - 6) 下腹部痛の診断、治療及び鑑別診断が出来る
 - 7) 婦人科良性腫瘍の診断、治療(手術も含む)が出来る
 - 8) 婦人科悪性腫瘍の診断と手術の助手が出来る
 - 9) 不妊症の検査が出来る
 - 10) 婦人科内分泌疾患の検査が出来る
 - 11) 婦人科感染症の診断と治療が出来る
 - 12) 人工妊娠中絶が出来る

研修プログラム

5年間で産婦人科全般の研修を行い、専門医の資格取得を目的とする。但し、母体保護医は3年間の研修で取得可能である。

1～3年は正常分娩が主体であり、4～5年目は異常分娩が主体になる。

1～3年は良性腫瘍が主体であり、4～5年は悪性腫瘍の主治医にもなる。

異常性器出血・下腹部痛・不妊症・内分泌疾患・婦人科感染症に関しては5年間を通して研修する。母体保護医の取得には、一定数以上の人工妊娠中絶術施行の研修が必要である。

産婦人科専門医取得要件

- 1、日本産科婦人科学会の会員歴5年以上
- 2、日本産科婦人科学会認定専門医研修施設における研修と一定以上の症例数
- 3、一定以上の学会発表、学会誌への自著論文の発表
- 4、8月行われる筆記試験・口頭試問の合格